



# 新たなる飛翔へ

# 知事に就任して

情は、私を育んでくれたふるさと和歌山への愛着と感謝の気持ちを一層強めてくれました。そして、各地で、県民の皆さんと膝を交えて話し合い、県政への切実なる期待を直接お聴かせいい

ただいたことは、私に大きな財産を与えてくれた  
と実感しています。

りのない心、おごらず、卑しくならず、人の喜びも、悲しみも、分かち合える「眞」の心。これからも、これを肝に銘じ、県政を運営してまいります。

このたび、県民の皆さんにご信任をいただき、和歌山県知事の重責を担うことになりました。あらためて身の引き締まる思いでいっぱいです。私は、昨年来、県下各地をくまなく駆けめぐつてきました。

冬から春、夏、そして秋へと様々な風情をみせる四季折々の自然や、そこに住む人々の温かい心

ప్రశ్నలు ఉపాఖ

このたび、一月二二日を以て和司に貢  
知事を退任いたしました。

の皆さんへの終始変わらぬご支援を賜りましたことは、この上なく光栄で、感激もひとしおでござります。

昭和五十年の知事就任当時は、オイルショックによる県財政の危機など、非常に厳しい時期でした。

以来、私は、「半島性からの脱却」に真正面から取り組んでまいりましたが、近年、高速道路の国土軸直結や関西国際空港の開港、県立美術館・博物館の開館など、その取り組みがようやく开花しさらなる発展への基盤づくりが整ってきたと感じております。

思えば、人と人との思いやりの心「まごころ」を政治信条とし、全力を尽くした二十年でしたが

兩口勇

制の実現 先端・地域産業や農林漁業の育成 教育の充実、同和対策の推進、文化・スポーツの振興など、豊かな未来を目指して進めなければならぬことはたくさんあります。

私は、お約束したプロジェクトを着実に進展させるとともに、県民の皆さんと一緒にになって、これから県政を進めてまいります。そのためにも皆さんの身近なご意見を県政に反映させる「移動県庁」や女性のご意見を反映させる「百人委員会」、「サービス、スピード、シャープの3S」で開かれた県政への改革などを考えていてます。

私は、住んでいて良かったと実感でき、全国に存在感をアピールできる和歌山県を築き上げるために、大胆で思い切った「責任ある県政」「心かう県政」「清新の県政」を推進する決意です。県民の皆さんのご理解、ご協力を心からお願ひ

申し上げます。

知事としての職務をまつとうできたのも、多くの方々のお力添えのおかげであります。

長い間のご支援、ご協力に、心から厚くお礼申  
し上げます。

県政を離れても、私のふるさとを愛する気持ち  
に変わりはありません。

今後は、県民の一人として、二十一世紀へ、大きな飛躍を目前に控えた和歌山県のために、微力を尽くしたいと思っております。

卷之三



## (福祉の店「フレー・愛」)

十一月三日から九日までの「障害者福祉週間」には、障害者自らの自立と社会参加への意欲、

県民の障害者問題に対する理解をより一層高めるためにいろいろな取り組みを行っています。

障害者施設や小規模作業所でつくられた授産製品を販売する福祉の店「フレー・愛」の開店、街頭キャンペーン、ふれあいのつどいなどが県内各地で行われます。

十月二十八日と二十九日の二日にわたり福島県で行われた「全国身体障害者スポーツ大会」に、和歌山県から十一人が出場しました。競技は陸上、水泳、卓球などで、普段はそれぞれの施設や学校又は職場で、働きながら練習を積み重ね、この大会が、今までの練習の成果を発揮する場となりました。

榎本香代さんは、車いすで、スラロームとビーンバック投げの二種目に出場しました。スラロームは、旗門によって規定されたコース通り、タイムを競い、ビーンバック投げは、豆の入った布の袋を前方に投げて距離を競う競技です。

榎本香代さんは、現在、子ども・

障害者相談センターのワープロ・パソコン科で学んでいます。

通常の機能訓練に加えて、プールサイドにスラロームのコースを作るなど、大会に向けて練習に励んできました。

結果はスラロームが金メダル、ビーンバック投げが銀メダルでした。「みんなの一生懸命がんばる姿に感動し充実感でいっぱい」と語ってくれました。

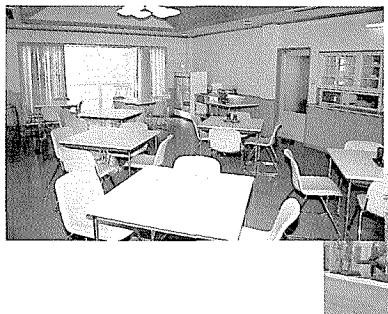
身体障害者スポーツ大会は、障害のある方が、スポーツに親しみ、明るくたくましく社会参加していただくことを目的として行われるもの。選手の方々の間には、温かい交流も生まれました。

## (障害者の自立を支援)

知的障害者の方の社会参加を促進する県内初の福祉工場「マルワック」と福祉ホーム「ローズ桃山」が、桃山町に完成し、十月にオープンしました。

福祉工場は、知的障害者の方に働く場を提供し、生活指導などをを行いながら自立を促進する施設です。

福祉ホームは、働いている知的障害者の方が生活を営むための施設です。



# 12月9日は障害者の日

県では障害者の方が積極的に社会参加し、障害のある方も障害のない方も共に生活し、共に活動する社会の実現を目指し、さまざまな取り組みを進めています。



精神障害者の方の自立と社会参加を促進するために「障害者手帳」が交付されることになりました。

● 使用料が半額になる施設  
① 都市公園有料施設（万葉館を除く）、② 県民水泳場、③ 相撲競技場、④ 県民文化会館駐車場、⑤ 体育館、⑥ 武道館、⑦ 県体力開発センター、⑧ 南紀スポーツセンター（球技場等）

精神障害者保健福祉手帳

同様に次の十五の県営施設の使用料が無料又は半額になります。

⑨ 万葉館、⑩ 近代美術館、⑪ 博物館、⑫ 紀伊風土記の丘資料館、⑬ 自然博物館、⑭ 植物公園緑花センター、⑮ わかやま館

くわしくは県庁健康対策課又是最寄りの保健所にお問い合わせください。  
また、手帳を提示すれば、從来から適用されている身体障害者手帳・療育手帳をお持ちの方と居住地の保健所にお申し込みください。

### 対象施設

## 拝啓

### 県民のみなさまへ

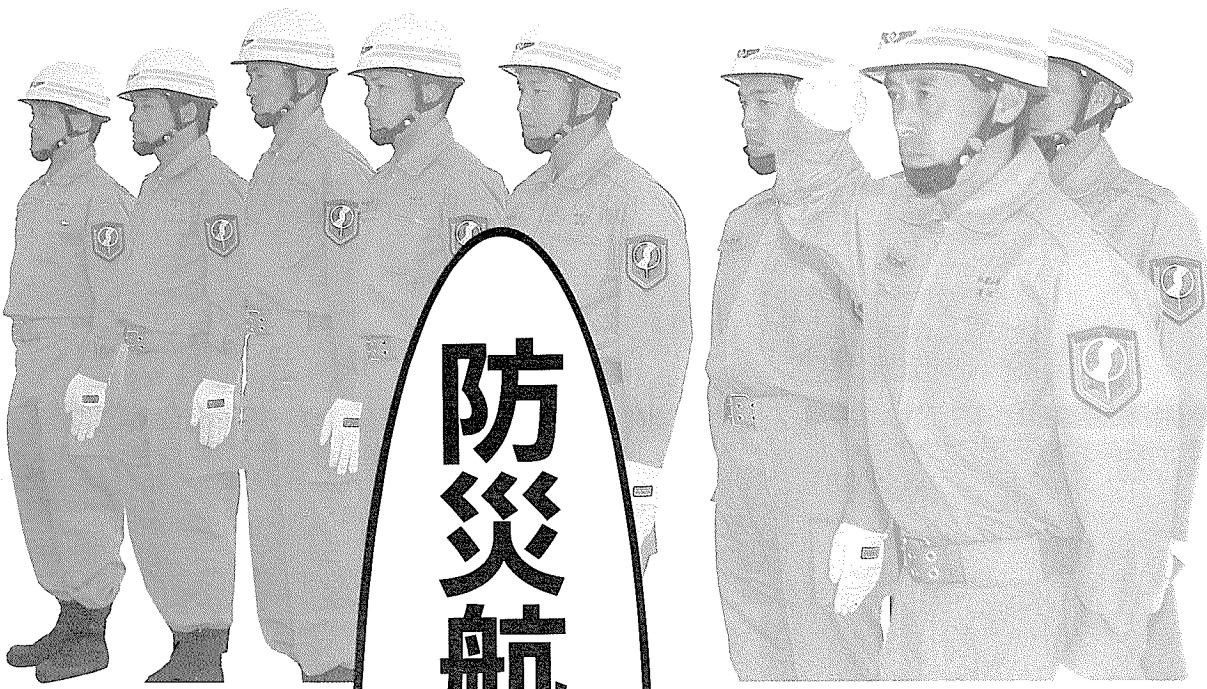
セーブをお送りします。

今月号から「県民の友」に、このコーナーを設けることにいたしました。

十一月二十四日に初登場をし、よいよ私の知事としてのスタートをきった訳であります。

昨年十二月に副知事をやめて県内各地をまわる間に、県民のみなさんに県政の具体的なことがよく知られていないことに気づきました。これからは、その時にメツ

知事室フックス  
(0734) 41-2020



# 防災航空隊発足



県では、地域防災計画の見直しを行い、地域、市町村と一体となつた防災に強い県づくりに取り組んでいます。

その一環として、今回、防災ヘリコプターを導入し、「和歌山県防災航空隊」が発足しました。

大規模な地震や津波、風水害に迅速的確に対応するために導入した防災ヘリコプター。

このヘリコプターには、救助者等つき上げ装置や空中消火用散水タンク、救急医療用ベッドなどが装備されています。そして、これに伴い、南紀白浜空港内に和歌山県防災航空センターを設置し、市町村等から派遣された消防職員十名からなる「和歌山県防災航空隊」を編成しました。

南北に長く、山間地の多い和歌山県では、空からの防災活動は大きな威力を発揮します。

救援患者や医師、医療機材の搬送、水難事故における捜索・救助、高層建築物火災における救助、空中からの消火活動、大規模災害等の状況把握など幅広い活動内容です。

運航開始は、来年三月。それまでは、災害時の厳しい状況下でも十分な活動ができるよう、訓練を積み重ねます。

昭和二十九年に日展初入選以来十八回入選し、和歌山県展に個展を開催。

昭和二十九年に日展初入選以来十八回入選し、和歌山県展に個展を開催。

## 県文化表彰受賞者決まる

文化の発展、向上に貢献のあつた方々に贈られる平成7年度

県文化表彰の表彰式が、十一月二日、県庁で行われました。

今年は五人と二団体の方が受賞されました。受賞者の皆さん

の一層のご活躍をお祈りします。

**文化賞**  
保田 春彦氏

粉河町出身。昭和二十七年東

京美術学校彫刻科を卒業後、パ

リで学び、ローマ・ミラノ・ウ

イーン等で個展を開催。帰国後

も国内外の数多くの展覧会に出

品、受賞する。

平成七年十月には、中原悌二

郎賞を受賞。

「情緒的なものを払拭する」

と評される作風は、従来の日本

人作家ではない独自の境地を開

いたものとして高い評価を得て

いる。

作品は日本各地に設置され、

全国の美術展等の選考委員を務

めるなど、日本の現代彫刻家を

代表する一人として活躍。

県内では、県立近代美術館前

庭の「球を覆う幕舎」や那賀總

合庁舎前の「十字の構造」など

の作品がある。

また、平成七年には、和歌山、

神奈川、三重、大原（岡山）の

四美術館共同で作品展が開催さ

れた。

**文化功労賞**  
山本 利夫氏（号 興石）

和歌山市出身。教職に就く傍

ら、昭和二十三年和歌山県書道

教育研究会を組織し、現在も会

長として小・中・高校等の書写

教育に一貫して取り組み、後進

の指導育成に全力を注ぐ。

昭和五十一年に和興会を主宰

し、翌年から和興会展を開催。

昭和五十八年及び平成五年には

来十八回入選し、和歌山県展に

個展を開催。

年一月に第二十九代立行司式守

伊之助を襲名し、現在に至る。

立行司は行司の最高位で、横

幅く、高く評価されている。

また、県内外の民俗芸能大会

に参加することで、その活動は

広く、高く評価されている。

査員として指導的役割を果たし、和歌山県の書道文化の発展、向上に尽くす。

南垣内 文平氏（号 泰甫）

かつらぎ町出身。昭和三十五

年に光風未生流二代目家元とな

る。昭和五十二年県華道連盟会

長に就任し、県植物公園緑花セ

ンターに花壇を建立。

昭和六十二年には、県華道連

盟と県いけばな協会とを発展的

に合併、県華道界の統一に大い

に尽力し、約二千名の会員を有

する県華道家協会の初代会長に

就任。

県内全域にわたり華道の振興、後進の指導・育成に努める。

和中 光次氏

和歌山市出身。歯科医師とし

て、歯科保健向上に尽力する傍

ら、昭和三十六年に和歌山文化

協会に入会し、和歌山の総合的

な文化行事に参加。

和歌山県文化協会連合会会長、

全日本文化団体連合会副会長等

に就任し、和歌山県の文化の向

上、発展に努める。

また、和歌山県長期総合計画

審議会委員等公職も数多く歴任

し、文化財の保存、中国山東省

との文化交流にも積極的に取り組み、文化の振興に大きく貢献する。

**文化奨励賞**  
社団法人示現会和歌山支部

洋画団体示現会の和歌山支部

として、美術に関する普及、育

成活動に努める。

毎年、支部展を継続して開催するとともに、東京の中央展の優秀作による和歌山巡回展を開催する。

会員の個展、グループ展を積極的に推進し、多くの作家の輩出に貢献する。

また、多數の美術教室を指導するなど、県民生活に直結した美術活動を通じ、多くの美術愛好家を育てた。



# の一年

戦後五十周年の節目の年にあたる今年は、阪神・淡路大震災、新知事の誕生などさまざまなことがありました。皆さんにとってどのような年だったのでしょうか。

県政のできごとを中心に和歌山県の一年を振り返ってみたいと思います。

月	日付	出来事	写真
1月	14日	「吉宗」キャンペーン・オープニングイベント、和歌山市のメディアアートホールで開催。 阪神・淡路大震災勃発。 同日、これにかかる県救援対策本部設置。	
2月	12・5日	「八代将軍吉宗フォーラム」を開催。	
3月	13日	阪神・淡路大震災に対する災害義援金、救援物資の受付開始。 約二ヶ月半の期間中で、義援金は、贈り個人・団体・企業から1億9,817万3,358円、救援物資は延べ6,550個の個人・団体・企業から2,410ントラックで約40台分となる。	
4月	20・9日	「県立医科大学及び附属病院」着工。 「財団法人世界リゾート博記念財団」設立。 県議会議員選挙行われる。 最近の急激な田高に対応するため、緊急田高対策実施。 御坊第二工業用地の造成工事完成。	
5月	14日	約8千5百人を収容できる「県多目的ホール(仮称)」着工。 国道42号田辺バイパス開通。 「紀の川大堰」建設工事定礎式実施。 「北山村高齢者生活福祉センター」完成。	
6月	11・10日	県内各地で開催される吉宗リレーイベントの第一弾「南紀白浜海人祭」開催。 新「有田総合庁舎」完成。 半島振興法が制定された六月十四日を「半島の日」とし、記念イベントを那智勝浦町で開催。 半島振興法は法期限が十年間延長され、内容も充実。	
7月	18日	戦後五十周年に当たる今年、「戦後五十周年平和祈念事業和歌山県戦没者追悼式」を行ひ。	
8月	24日	テクノスーパーライナーの実験船「飛翔」、和歌山下津港へ寄港。 和歌山下津港と韓国の釜山港との間に定期コンテナ航路開設。	
9月	23・22日	「県防災会議」開催。 「県立なき看護学校」完成。四月から開校。	
10月	22日	紀伊大島と本土を結ぶ県道櫻野串本線「大島架橋」着工。	
11月	26日	「半島の日記念イベント」開催。	

## ふるさと和歌山

## 県政こ



20~12日



4日

国道42号白置川道路一期工事区間(日置川町伊古木～同町塩野)開通。

8月



27日

県道田辺龍神線虎ヶ峰バイパス開通。



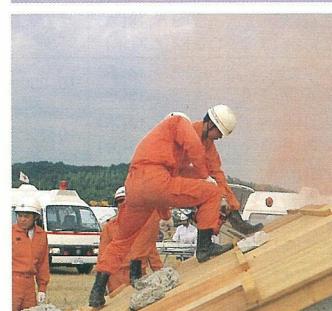
1日 1日

県立五稜病院に老人性痴呆疾患センターオープン。すさみ町の畜産試験場に「くろ

9月

4日

1日

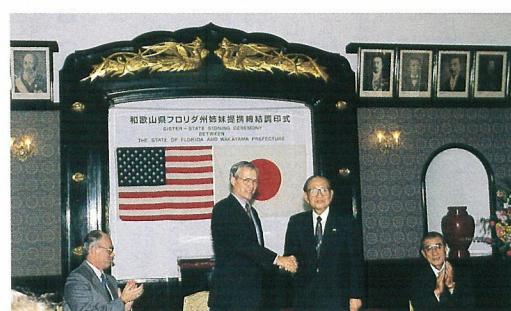


31日



「県中学生海外研修ティクオフ21」を実施。イギリスなどを訪問し、見聞を広める。

24~17日



和歌山大学に「システム工学部」創設。来年四月から学生の受け入れ開始。世界有数の海洋リゾート地帯であるアメリカ合衆国フロリダ州と姉妹提携締結。



10月 1日

和歌山市毛見に、児童と障害者福祉の拠点「県子ども・障害者相談センター」オープン。

8日

新南紀白浜空港の基本施設の完成を祝って「エアポートフェスティバル」開催。



22日 17日 8日



田辺市と上富田町を結ぶ広域農道南紀地区、全線開通。明日の和歌山を担う青少年の育成に向けて「わかやまの青少年プラン」策定。防災ヘリコプターを活用した空から救助活動等を行う「県防災航空隊」発足。来年三月の運航開始に向けて、訓練開始。

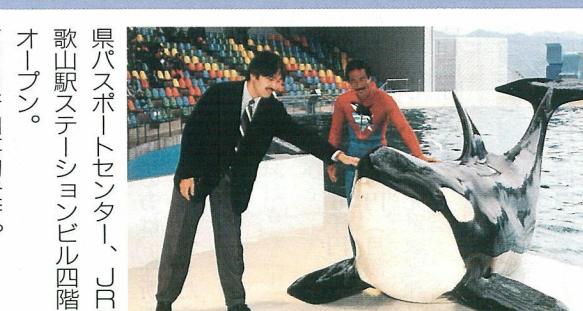
7・6 5日

4・3日

1日

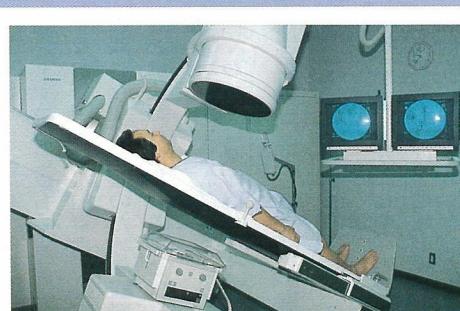
24日

13日



県バスポートセンター、JR和歌山駅ステーションビル四階にオープン。

和歌山市片男波公園「健康館・万葉館」で開館一周年記念イベント開催。秋篠宮殿下が、社団法人日本動物園水族館協会主催「第8回種保存会議」にご臨席され、白浜町内をご観察される。



県立医科大学紀北分院に最新鋭の血管撮影装置導入。

11月

## おしらせ



県営住宅入居補欠者

種目	部門	定員	参加費	参加資格
ハーフマラソン	マスターズ男子の部(30歳以上)	先着 2,500人	マスターズ会員 3,000円 マスターズ未登録者 4,200円	18歳以上 (高校生を除く) の健康な人で 2時間30分以内に 完走できる人
	マスターズ女子の部(25歳以上)			
	ヤング男子の部(29歳以下)			
	ヤング女子の部(24歳以下)			
10kmロード	マスターズ男子の部(30歳以上)	先着 1,000人	マスターズ会員 2,500円 マスターズ未登録者 3,700円	18歳以上 (高校生を除く) の健康な人
	マスターズ女子の部(25歳以上)			
	ヤング男子の部(29歳以下)			
	ヤング女子の部(24歳以下)			
5kmロード	男子18歳以上の部	先着 1,000人	マスターズ会員 2,000円 マスターズ未登録者 3,200円	中学生以上の 健康な人
	女子18歳以上の部			
	男子中・高校の部			
	女子中・高校の部			
2kmラン&ウォーク		定員なし	中学生以上 1,000円 小学生 800円	小学生以上の 健康な人 (小学生は保護者同伴)

開催日	平成8年2月18日	ロードレース実行委員会へ
コース	南紀白浜空港滑走路→白浜温泉街など(白浜町内)	※募集要項(申込書)は申込先で配布しています。参加者全員にTシャツ等配布。
申込	12月28日までに申込書に必要事項を記入し、〒640和歌山市湊本町3-3和歌山放送内	参加費などくわしくは県庁南
定員	20人(多数の場合抽選)	は申込先
料金	27 1 7 3 4 27 1 7 3 3 0 へ	(0734)36-9540へ

受付	12月19・20日午前10時	午後4時 有田総合庁舎
くわしくは湯浅土木事務所	（0737）63-4111へ	
受付	12月19・20日午前10時	午後4時 有田総合庁舎
くわしくは湯浅土木事務所	（0737）63-4111へ	
受付	12月19・20日午前10時	午後4時 有田総合庁舎
くわしくは湯浅土木事務所	（0737）63-4111へ	

## 県立文書館歴史講座II

青木園地(金屋町)3DK=5戸	吉原園地(金屋町)3DK=5戸
和田園地(広川町)2DK=5戸	和田園地(広川町)2DK=5戸
青木園地(湯浅町湯浅)視覚障害者向け3DK=1戸、肢体障害者向け2DK=1戸	青木園地(湯浅町湯浅)視覚障害者向け3DK=1戸、肢体障害者向け2DK=1戸
用紙配布	用紙配布
12月1～18日	12月1～18日

## 技術講習会

（0734）36-9540へ	（0734）36-9540へ
11-7-38	県立文書館

(0734)36-9540へ

講師・期日 第1回「紀州漁民と海産物」鈴鹿国際大学講師 笠原正夫氏・平成8年1月28日 第2回「紀州の林業と備長炭」田辺市文化財審議会委員 岸彰

1又は受付先へ  
公正取引委員会 消費者モニター会事務局 近畿事務所取引課へ  
くわしくは応募先 (06) 941-2173へ会事務局 近畿事務所取引課へ  
くわしくは応募先 (06) 941-2173へ  
(ぶりがな)、年齢、職業、電話番号、家族構成(続柄、年齢、住所、氏名、年齢、職業、学年)、家計簿記帳年数、生活設計をたててから年数を記入し、平成8年2月29日まで

応募方法 ハガキに応募区分、住所、氏名、年齢、職業(学校名、学年)電話番号を記入し、県庁県民生活室内 県貯蓄

応募方法 ハガキに応募区分、住所、氏名、年齢、職業(学校名、学年)電話番号を記入し、県庁県民生活室内 県貯蓄

児童手当は、3歳未満の児童を養育している方に支給されます。受給ご希望の方は、住所地の市町村役場へ申請してください。ただし、所得制限があります。

児童手当は、3歳未満の児童を養育している方に支給されます。受給ご希望の方は、住所地の市町村役場へ申請してください。ただし、所得制限があります。

児童手当は、3歳未満の児童を養育している方に支給されます。受給ご希望の方は、住所地の市町村役場へ申請してください。ただし、所得制限があります。

児童手当は、3歳未満の児童を養育している方に支給されます。受給ご希望の方は、住所地の市町村役場へ申請してください。ただし、所得制限があります。

児童手当は、3歳未満の児童を養育している方に支給されます。受給ご希望の方は、住所地の市町村役場へ申請してください。ただし、所得制限があります。

児童手当は、3歳未満の児童を養育している方に支給されます。受給ご希望の方は、住所地の市町村役場へ申請してください。ただし、所得制限があります。

児童手当は、3歳未満の児童を養育している方に支給されます。受給ご希望の方は、住所地の市町村役場へ申請ください。

# おしらせ

県庁・県教育委員会は

催し

県民文化会館 ☎(0734)36-1331

第25回クリスマスチャリティーフェスティバル  
12月10日 器楽演奏＆パレエ（大ホール500円）・  
チャリティーダンスパーティー（片男波公園（健康館・万葉館）アリーナ1,000円）  
18日 ジャズコンサート（小ホール2,500円）  
24日 クリスマスパーティー（大ホール1,000円）  
25日 クラシック音楽の夕べ（大ホール1,200円）

県植物公園緑花センター ☎(0736)62-4029

園芸教室「お正月を飾る寄せ植えを作る」 12月17日

お気軽にどうぞ

交通事故相談

〔常設相談〕月～金曜日（東牟婁県事務所は水曜日を除く）

場所 県庁交通事故相談所、東牟婁県事務所

〔弁護士による相談〕●県庁交通事故相談所 每月第1、3月曜日●東牟婁県事務所 每月第1、3金曜日 受付 午後1～3時

〔巡回相談〕●伊都県事務所 12月20日 ●西牟婁県事務所 1月10日 受付 午後3時まで

県民相談

〔常設相談〕月～金曜日

場所 県庁県民相談室、各県事務所

〔弁護士による法律相談〕毎月第2、4金曜日

受付 午前9～11時 場所 県庁県民相談室

〔移動相談〕●金屋町文化保健センター 1月19日 受付 午後1～3時

＊くわしくは県庁県民相談室☎(0734)41-2359（交通事故相談）、41-2356（県民相談）へ

## 電波で結ぶあなたと県政

テレビ テレビ和歌山

きのくに'95	日曜日	午前10時～ (再)午後10時30分～
県政フラッシュ	金曜日	午後6時15分～
県民チャンネル	月～土曜日	午後8時55分～
はばたく紀の国	土曜日	午後6時～

ラジオ 和歌山放送

県民マイク	土曜日	午後2時30分～
県庁だより	月～日曜日	午前11時40分～
	(再)月～金曜日	午後5時50分～
	(再)土・日曜日	午後6時～
定期便教育の窓	第2・4土曜日	午後2時15分～

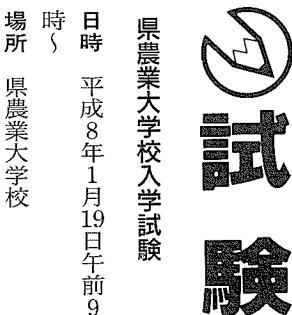
文字放送 テレモ西日本 511#

紀の国・和歌山情報 毎日 午前6時～深夜0時

現在納めている掛金の月額	平成八年一月一日から平成九年三月一日までに加入される方の場合	平成九年四月一日から平成十一年三月一日までに加入される方の場合	平成十年四月一日から平成十一年三月一日までに加入される方の場合
一、四〇〇円	二、一〇〇円	三、五〇〇円	四、五〇〇円
二、六〇〇円	三、八〇〇円	四、九〇〇円	六、〇〇〇円
三、二〇〇円	四、六〇〇円	六、〇〇〇円	七、四〇〇円
四、一〇〇円	五、七〇〇円	七、三〇〇円	八、九〇〇円
五、三〇〇円	七、二〇〇円	九、〇〇〇円	一〇、八〇〇円
六、八〇〇円	九、〇〇〇円	一一、二〇〇円	一三、三〇〇円

加入時の年齢区分	掛金額	②脱退一時金の制度が新たに設けられます。	脱退される方の加入期間に応じて、一口あたり次表とのおりの金額が支給されることになります。
三十歳未満の方	三、五〇〇円	五年以上十年未満	一〇、〇〇〇円
三十五歳以上四十歳未満の方	四、五〇〇円	十年以上二十年未満	一五〇、〇〇〇円
四十五歳以上五十歳未満の方	六、〇〇〇円		
五十五歳以上六十歳未満の方	七、四〇〇円		
六十歳以上六十五歳未満の方	八、九〇〇円		
六十五歳未満の方	一〇、八〇〇円		
七〇歳未満の方	一二、三〇〇円		

くわしくは、市町村役場福祉担当課、各福祉事務所、県庁障害福祉課へ



## 試験

県農業大学校入学試験

日時 平成8年1月19日午前9時

場所 県農業大学校

この制度は、保護者が亡くなられた後、残された子どもが一定額の年金給付を受けることが可能になりました。安定した生活を送ることができるように、生存中に納めた掛け金により運営される相互扶助の制度です。

障害のある方々の死亡率の改善や、近年の低金利の影響をうけた保険金の運用利回りの低下

により、年金の給付を将来にわたり安定的に給付するための財源が極めてひど迫していま

す。

このため、来年1月から年金給付に必要な資金を確保するため、掛け金を引き上げるとともに、過去の積み立て不足分について公費による財政支援措置をすることによる制度の安定化を図ることとした。

を図ることとした。

改正の内容は次のとおりとなります。

①掛金の月額が次のとおりとなります。

平成七年十二月末までに加入される方の場合

現金の月額

掛金額

掛金の月額

掛金額

## なが～い、つり橋完成

美山村の椿山ダムの近くに、長さ200メートルの観光用つり橋「椿山レイクブリッジ」が完成しています。

歩道専用の小規模つり橋としては、日本で三番目の長さで、国道44号と椿山半島の先端付近を結んでいます。

椿山半島には、  
現在、公園を整備  
中。

来年の春には、展望台、あずま屋、レガッタの公認コースなどが完成する予定です。

(美山村)



# ホームヘルパー ユニフォーム作成

A black and white photograph showing three elderly women standing side-by-side on a paved surface. They are all wearing matching uniforms consisting of light-colored long-sleeved shirts and dark trousers. The woman on the left has a light blue jacket over her shirt. The woman in the center has a small emblem on her chest. The woman on the right has a white jacket over her shirt. They appear to be staff members of a facility.

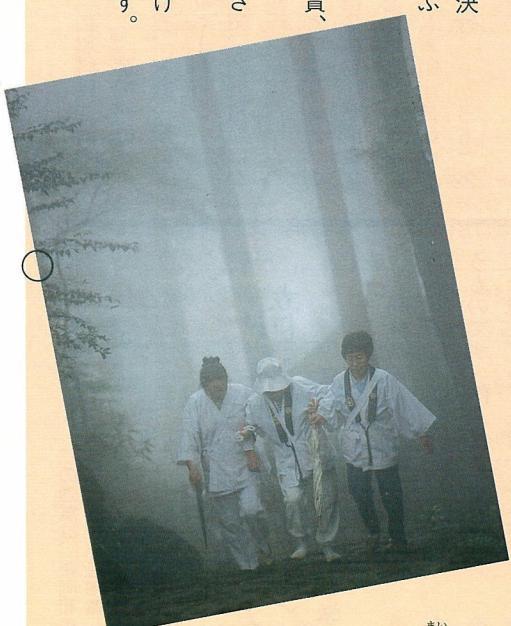
一ムは、全国でも初めて。  
これから高齢化社会、寝たきり老人の介護などを行うホームヘルパーはますます必要とされる大切な仕事です。ご活躍を期待しています。

「フォームをこのほど作成しました」と使用したこのユニフォームは、夏・冬・  
イヤージが一セットで、胸にシンボルマークの「ホホえみさん」をあしらつて  
います。

県写真コンテストの入賞者が決まりました。今回のテーマは「ふるさとわかやま～あい～」。  
知事賞の亀井洋幸さんのほか、特選一人、準特選二人の方が入賞、十五人の方が入選されました。多数のご応募、ありがとうございました。

## 第十二回県写真コンテスト入賞者決定

知事賞「霧の中のお詣り」  
まい  
亀井 洋幸さん(那智勝浦町)



# “万葉”の世界に ふれてください

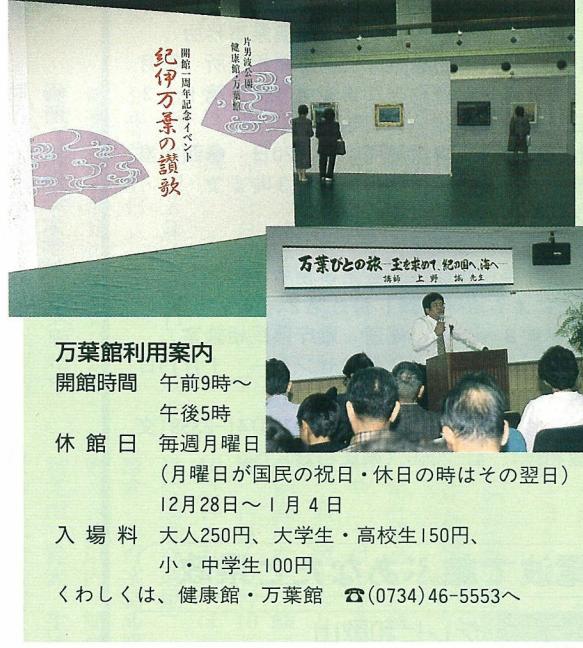
和歌山市片男波公園の「健康館・万葉館」開館一周年記念イベントが先月3日と4日に開催されました。

奈良大学文学部専任講師の上野誠先生による  
“万葉”をテーマにした講演のほか、洋画・日本画・書道・写真の作品展示、万葉歌の詩吟や  
コーラス、薄茶席などが行われました。

「万葉館」は、万葉シアターや万葉地図の資料展示など、万葉の世界を体感できる施設。

「健康館」には、いつでも気軽に運動を楽しめる体育館や体力測定室などがあります。今後も、万葉講座等の開講を予定しております。

すので、ぜひ一度ご来館ください。(和歌山市)



# 秋から春の「ゆう・わく和歌山」をよろしく



十月から十一月にかけて、大阪や東京において、「ゆう・わくガールズ隊」が、浴衣姿でキャラバンを行いました。そのほか、JR線への車内吊りやポスター、雑誌広告などでPRする予定です。

夏期と比べて観光客が少ない、秋から春にかけての和歌山をPRしようと、観光キャンペーンを開催中。

# 九度山で隠忍の日を 過ごした武将

永禄十二年（二五六九）、信州上田城主、真田昌幸の次男として生まれる。



あ  
と  
か  
さ  
れ  
わ  
な  
く  
年  
の  
瀬  
が  
過  
ぎ  
て  
い  
き  
ま  
す。  
下  
手  
な  
文  
章  
、  
写  
真  
な  
ど  
ご  
迷  
惑  
を  
お  
か  
け  
し  
ま  
し  
た。  
来  
年  
も  
が  
ん  
ば  
り  
ま  
す  
の  
で  
よ  
ろ  
しく  
お  
願  
い  
し  
ま  
す。  
一  
年  
間  
ご  
愛  
読  
あ  
り  
が  
と  
う  
ご  
ざ  
い  
ま  
し  
た。  
毎  
月  
各  
家  
庭  
に  
届  
け  
て  
く  
だ  
さ  
つ  
た  
皆  
さ  
ん  
、  
本  
当  
に  
ご  
苦  
勞  
さ  
ま  
で  
し  
た。  
来  
年  
も  
、  
皆  
さ  
ん  
に  
と  
つ  
て  
良  
い  
年  
で  
あ  
り  
ま  
す。  
よ  
う  
に。

合戦では、父昌幸とともに西軍に味方し、中山道を上る徳川秀忠の六万の大軍を上田城にくぎ付けにし、秀忠の関が原参戦を防ぐ。

しかし、西軍方についたため、所領は没収され、父とともに蟄居ちじょを命ぜられ、九度山で暮らすこととなる。

隱忍の日を過ごすこと十四年、昼間は畑を耕し、夜は、新しい軍学の研究や兵器の工夫をし、将来に備えていたと伝えられている。

慶長十九年、挙兵した豊臣秀頼の誘いに応じ、大坂（阪）城へ入城。

大坂城外に真田丸を築き、敵の大軍を大いに苦しめたと言われる。

続く夏の陣でも大奮戦するが、五月七日、四十九歳で戦死する。

九度山町には、真田父子が生活していた跡地に建つ善名称院、通称「真田庵」がある。また、毎年五月、真田父子をしのび、地域の人や子供たちが武者行列に扮する「真田まつり」が行われている。

# 心の知識